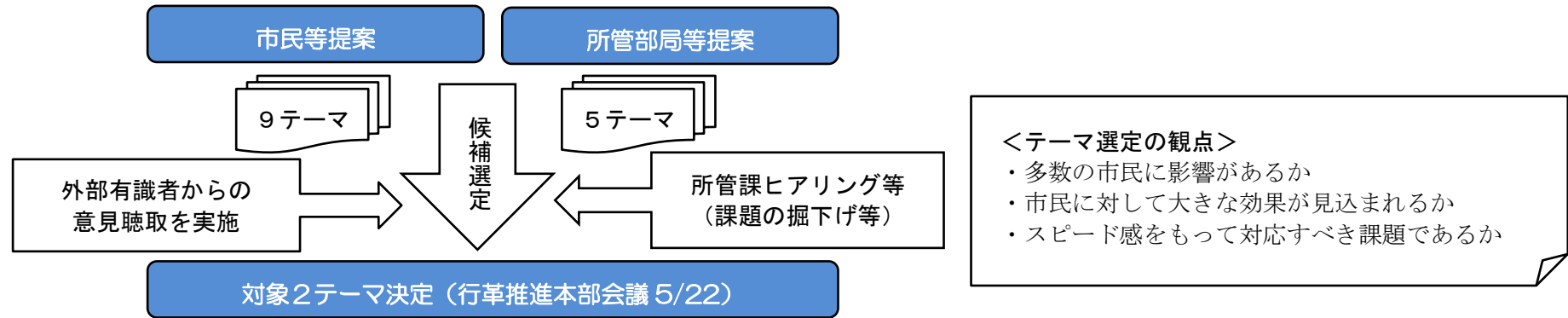


平成30年度 新しい公共ガバナンス推進会議の対象テーマについて（案）

1 対象テーマ選定について（提案テーマについては別紙「参考資料」参照）



2 対象テーマ（案）

(1) インバウンドの誘客促進に向けた受入環境整備のあり方について【文化観光局】			
選定理由	外国人旅行者が急増する中、本市においても世界文化遺産登録やワールドマスターズゲームズなどを控え、多様な主体の連携・協働による外国人旅行者の受入環境整備は喫緊の課題であるため。	効果	外国人旅行者の市内周遊の促進につながるるとともに、観光消費の拡大等が期待される。
		論点（案）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人旅行者の利便性の向上に向けた多様な主体の連携・協働のあり方</li> <li>・外国人旅行者に対する「おもてなし」の充実に向けた多様な主体の連携・協働のあり方</li> </ul>
(2) 多様な主体との連携・協働による学校園における働き方改革について【教育委員会事務局】			
選定理由	文部科学省において学校における働き方改革に関する緊急対策がとりまとめられており、本市においても教員の長時間勤務の改善は喫緊の課題であるため。	効果	教職員の長時間勤務の是正に向け一定の効果が期待できる。そのことは、授業や授業準備等に集中し、教育の質を高められる環境整備にもつながる。
		論点（案）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校以外が担うべき業務</li> <li>・必ずしも教師が担う必要のない業務</li> <li>・教師の負担軽減が可能な業務</li> </ul> <p>上記における多様な主体の連携・協働のあり方</p>